「公共事業コスト構造改革プログラム」
【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化　【4】資源循環の促進 】

「緑のリサイクル」により環境保全及びコスト縮減

概　要： 維持管理等で発生する刈草や剪定枝などの植物発生材（約８万㎥）を堆肥として生産し、高速道路の造園工事等で土壌改良材として活用

効　果

①廃棄物の削減と資源の有効活用【コスト削減・環境保全】

②植物資源を燃やさずにﾘｻｲｸﾙすることで、ＣＯ２再発生の抑制　【地球温暖化防止】

③ﾘｻｲｸﾙ堆肥が樹木の成長を促し、結果としてより多くのＣＯ２固定に貢献

【地球温暖化防止】

(草刈実施状況)

(堆肥製造状況)

(堆肥活用状況)

東／中／西日本高速道路㈱